

# 復興ニュース

24号  
2011年  
6月10日

発行：気仙市民復興連絡会  
大船渡市末崎町字石浜 34-1  
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>  
Twitter @KesenShiminFR

## 『いつかまた、43世帯に戻れますように』と、 願いをこめて揚げた鯉のぼり、高く大空に舞う。

—— 大船渡市末崎町・碁石コミュニティセンター ——

津波の前には43世帯が暮らしていた碁石地区。  
避難所のみなさんと43の鯉のぼりを揚げ、お餅つきイベントを開催しました。

大船渡市末崎町にある碁石コミュニティセンター。

静岡県のあるこのぼりメーカーから贈られた鯉のぼりを揚げるため、許可を得て森林から20cm×10mの木材を2本伐採し、全て手作りで巨大このぼり塔を設置。6月5日(日)この鯉のぼりの下で、お餅つきイベントを開催しました。

### “43”の鯉のぼりの下で、避難所のみなさんと。

天気にも恵まれ清々しいこの日は、たくさんの方がつきたてお餅で柏餅を頬張りました。



【鯉のぼり設置／餅つきイベント共催】

碁石地区コミュニティセンター避難所、さんさんの会、椿の里・大船渡ガイドの会、もさばロハス倶楽部、NPO 愛知ネット 【鯉のぼり設置木材提供】(有)佐藤木材さん

## お疲れではありませんか？

日ごろの気がかり、心の疲れ、ストレス  
不眠、なんとなく気分が優れない…  
などでお困りの方へ。



予約なしの場合／14:00～16:00 (火曜～金曜)

予約可能時間／9:00～16:00 (火曜日～日曜日)

場所／リアスホール駐車場のトレーラーハウス

対象者／どなたでもお気軽にどうぞ。

予約・お問い合わせ／080-6010-5352

↑ お気軽にお越しください ↑

NPO 愛知ネット・臨床心理士チーム



西村幸雄さんは、写真の  
手がかりをメモに残して  
いる＝岩手県大船渡市

## 単眼 複眼 写真が再び語り出す

### 被災地で修復ボランティア

東日本震災の津波の跡地から拾い出されたおびただし写真のいくつかには、再びいのちが吹き込まれる幸運がめぐってくる。

岩手県大船渡市の公民館では、地元のNPO法人「夢ネット大船渡」副理事長の西村幸雄さん(70)が、婚写真を見つめて声をあげた。

「あれっ、新沼さんこの長男でねえか」。少し傷んだ写真が息を吹き返した。

写真の汚れを洗い流し、乾かすのは神奈川県から来たボランティアの人たち。最後の

頼りが、一緒になって進める西村さんのような地元の人たちのまなざしである。

写真が見つかったと知らせると、懐に包み込むように持ち帰った人がいた。聞けば、きょうだい3人とそれぞれの配偶者、そして母親の合わせて7人を亡くしたという。

大津波はすべてを押し流した。でも、かろうじて残された数枚の写真が、家族との小さな物語を語り始める。

地元の鉄道会社を退職した西村さんが、仲間たちと市内のホールで「ホラふき大会」

を開いたのは6年前になる。

「『ホラふき』という聞こえが悪いけども、だれにも夢や野望がある。みんなの前で語ってもらおう会なのさ」

予想外の盛況になった。

「潮の干満を利用して大船渡で電気を起こそう」「誕生から20日で成人させる人体バイオ研究所をつくろう」

次々に飛び出す壮大な「ホラ」が評判を呼び、大会は5年続いた。その熱気が地域づくりを目指すNPO設立の背中を押しただけで済んだ。

そう語る西村さんも姉とその息子夫婦の3人を亡くしている。夫婦は防災センターに避難したものの、大津波にのまれて絶命。ずぶぬれでいったん助け出された姉は、避難所で低体温症で亡くなった。どれも助かったいのちだが、西村さんはほさない。

「これ、秋には『ホラふき大会』するかな」。この地でまた、夢物語を紡ぐ。

(編集委員・森本俊司)

NPO 法人 夢ネット大船渡は、津波で流出した写真などを拾い集め、汚れを落とした後に持ち主にお戻りする“想いで写真プロジェクト”を行い、たびたび展示会など催し、総計 300 世帯分以上の思い出の品々を持ち主の方へとしお戻しすることができました。

記事にもあるように、洗浄作業の中で知人を見つけることもしばしば。直接お渡しできることも多々あり、諦めかけていた思い出の品と再会を果たした方は皆、胸にギュッと抱きしめながら持ち帰られました。お渡しすることができなかった思い出の品々は、下記の場所にある【思い出ハウス】にて常時展示してありますので、ぜひ訪問していただくことをお勧めします。

【場所】大船渡市大船渡町野々田・大船渡老人センター(旧プールの場所)



# 炊き出し活動レポート

下記の日程で炊き出しを行いました。

- 6/6(月) 陸前高田市気仙町・

## 福伏自主防災会連絡本部

(名古屋名物きしめん&生野菜サラダ)

↑お野菜もたっぷりです

- 6/7(火) 陸前高田市小友町・正徳寺避難所

(五島手延べ麵を使った、しのだうどん&生野菜サラダ)



しのだうどん

毎週場所を変えながら、避難生活で大変な思いをされている方々との交流や親睦を目的とした炊き出しを行っており、食後のお茶会ではリラックスした雰囲気の中でおしゃべりやふれあいを楽しんでいただいています。

最近では仮設住宅の準備が進む中、避難所での炊き出しの需要が減りつつあるため、仮設住宅に移られた人同士が顔見知りとなり穏やかな日々を送れるようお茶会などの交流会を視野に入れて活動を行っています。

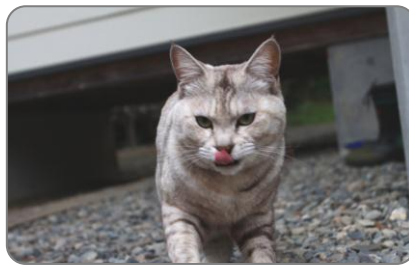


正徳寺避難所のみなさん

しかしながら未だ避難所申請をされていない所が点在しているという説もあり、そういった“見えていない避難所”に対しても、炊き出しやお茶会などの催し、支援物資配給をすることで支援にムラがないようしなければなりません。ひとつ屋根の下に何世帯もが共同生活を強いられている方々やその関係者の方々は、地元 NPO や市民活動団体などと広く情報共有していくことが大切かもしれません。

## 避難所で暮らす動物たち

～癒し癒され共存することの大切さ～



避難所では、多くの犬や猫と出会えます。彼らもまた被災者であり、避難住民です。私たち初対面の人間に対しても甘えてくる子ばかりです。私たちは彼らに癒されるだけでなく、癒してあげられる存在でありたいですね。

もさばロハス倶楽部／椿の里・大船渡ガイドの会／NPO 愛知ネット  
【食材提供】コープあいち、うまか食品(紹介協力:住田基地・南氏) いつもありがとうございます。



## 連絡会からのお知らせ

6/8に事務局にて第三会 世話人会を行いました。  
気仙地域(大船渡市・陸前高田市・住田町)で活動している  
NPO 団体、各市民団体、社会福祉協議会のみなさんが集まり、  
今後の復興支援に向けた意識統一をはかりました。気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報  
収集・発信(助成金情報提供等)を行っていきます。情報を  
発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。



### ◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(6/10 現在)  
御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

#### 【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

- 中央公民館(盛町)、カメラアホール
- 大船渡地区合同庁舎(1階売店)
- 薬王堂 大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)
- マイヤ 大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター)
- マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(レジ横)
- YSセンター(情報コーナー)
- 喫茶・ロリアン[大船渡市盛町]
- ダイマル[大船渡市盛町商店街]
- 大船渡市役所(入って左手曲がったところ)
- サン・リア(インフォメーションカウンター)
- 薬王堂 大船渡店(レジ横カウンター)
- モビリア[陸前高田市]
- 福祉の里(情報コーナー、1階ロビー)
- リアスホール[大船渡市]
- 佐々木荒物店[大船渡市盛町商店街]

その他、避難所、仮設住宅などには随時配布中です。

購読希望の方、配布にご協力くださる企業さまや団体さまは、  
気仙市民復興連絡会事務局(大船渡市末崎町 tel0192-47-3271<6/14 回線開通予定>)  
または連絡会事務局(080-2801-5352・広報)まで「復興ニュースの件で」と、お問合せください。  
尚、バックナンバーをご希望の方もお気軽にお問合せください。

### ◆復興ニュース休刊のお知らせ◆

次号以降の復興ニュース[6/14(火)、6/17(金)、6/21(火)発行分]は、休刊となります。  
毎号楽しみに愛読いただいているみなさんには御迷惑おかけします。  
次号(第25号)は、6/24(金)に発行いたします。

[復興ニュース]第24号 2011.6.10.

発行 : 気仙市民復興連絡会 広報

Tel: 080-2801-5352

[kesenshimin.f.r@gmail.com](mailto:kesenshimin.f.r@gmail.com)

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>